

## 印西大師 第5番 小倉・泉倉寺地蔵堂

1 名称 (No.005)〔手引鏡：地蔵堂〕〔資料館：地蔵堂〕〔行程表：泉倉寺〕

2 場所 印西市和泉971 泉倉寺 (せんそうじ)

千葉ニュータウン中央駅から道程約2,540m

木下駅から道程約4,930m

GPS座標 35.81893928333146, 140.1181718663812

3 由緒 天台宗 天龍山 泉倉寺

本堂わきには元禄4年(1691年)建立の庫裏があり、中の客殿には延命地蔵菩薩坐像が安置されています。これは弘化4年(1847年)に井伊家より寄進を受けたものといわれています。(中

略) 泉倉寺の延命地蔵は鎌倉時代のものと考えられています。(印西名所図会)

4 御堂 大師堂の中に丸彫の御大師様が1体あり。造立年の銘文なし。

5 境内

6 写真 (2020.11、2023.01撮影)



大師堂



御大師様



御詠歌



黄葉の泉倉寺参道



第5番大師堂(左)と第1番大師堂(右)



大師堂

7 情報

(1) 印西大師 第5番 地蔵堂 御詠歌 (泉倉寺本による)

六道の能化の地蔵大菩薩 導き玉(給)へ此の世後(のち)の世

四国八十八ヶ所 第5番 真言宗御室派 无尽山(むじんざん) 莊嚴院 地蔵寺(じぞうじ)

本尊 勝軍地蔵菩薩 (徳島県板野町) 写し

(2) 泉倉寺 (印旛郡誌)

和泉村字寺にあり天台宗延暦寺派にして天龍山と号す 延暦寺末なり 印西四十八ヶ村の本山にして権大僧都興賢を開基とす 平城天皇の勅願所にして七堂伽藍学校常念佛等ありしも天和三年正月元日炎上し旧記万端焼失せり この以前は壯麗近郷に冠絶したりと云う 往昔千葉氏の帰依する

こと厚し 而して当時の住職覺道千葉氏に勧めて北條氏を伐たんと謀る 策漏れて北條氏に聞す 其の年八月同族夜窃に兵を遣し当寺を焼く 覺道遁れて比叡山に隠る 乱平きて再び当地に來り止る之を中興開山とす 同師深く家飼の大なる猫を愛す (中略) 文禄年中住職権大僧都緋色の法衣を許されしより衣鉢相傳へ以て今日に至る 嘉吉年中江戸東叡山寛永寺の僧亮篤來り住し 本堂及び庫裏並に長廊四脚門等を再建す壯麗 旧佛を存したりが文久年間又火災に罹り纔に庫裏一棟を存するのみ 於是宝物皆烏有に歸す 翌年信徒是謀りて今の仮本堂及び庶木門を建立す 中興開山より概算年を経る八百年なり 境内に高五丈余の地藏堂あり 建立年月干支詳ならず 伝云彦根侯夫人の建立と 降雨を祈れば忽ち靈驗ありとの故を以て雨降地藏と稱す 檀徒1618人 (印旛郡誌)

※冠絶 (かんぜつ) 群を抜いてすぐれていること

※纔 (ひたた) わずかに

※烏有 (うゆう) に歸す 何もかもがなくなること。特に、火事で丸焼けになること

### (3) 総州六阿弥陀

総州六阿弥陀とは、文政10年(1827年)開創の霊場で、第1番・徳満寺(利根町布川)、第2番・延命寺(我孫子市布佐)、第3番・泉倉寺(印西市和泉)、第4番・長樂寺(印西市大森)、第5番・三宝院(印西市竹袋)、第6番・勢至堂(利根町布川)は現存せず布川不動堂(利根町布川)へ移動と、番号の付いた札所が6か所のほか、最勝院(印西市発作)、來見寺(利根町布川)、無量寺(利根町中谷)、念仏院(利根町押付新田)、瑞光寺(利根町押付新田)から水神宮(利根町押付本田)へ移動、と番外の札所が5か所あり、計11か所の札所で構成されている。(「ニッポンの霊場」HPより)



2024.02一部更新